

一般質問

市政全般にわたり19名の議員が質問しました。



弁天様と目久尻川 市街化調整区域の公共下水道について

松橋 淳郎 議員《さま大志会》

相武台東小学校の約200メートル北側には、水の神様として古くから地域住民に守られてきた白髪弁財天社があります。教育委員会が発行している「座間むかしむかし」によると、市内を流れる目久尻川の水源はこの白髪弁財天社付近となっており、川は下流の3市1町を蛇行しながら相模川と合流しています。白髪弁財天社から栗原遊水地までの約1.7キロメートルは、市街化調整区域となっており、そこでは生活排水が直接河川に流れる光景が見られます。生活排水対策への社会的意識が高まる中、目久尻川上流の市街化調整区域における今後

の公共下水道整備計画について、伺います。
上下水道局長 目久尻川上流の市街化調整区域は、公共下水道本管の整備が必要となる箇所です。本管布設に当たり、費用対効果や公共下水道使用の要望等を踏まえて計画を策定し、整備を進めていきたいと考えています。令和4年度及び令和5年度は、他地域の市街化調整区域の中で、市道に公共下水道本管が既に埋設されている箇所の汚水ま

す設置及び取付管工事を予定しています。目久尻川上流の市街化調整区域については、令和6年度以降の整備となります。



スポーツ施設の環境整備について

美濃口 集 議員《さま大志会》

新田宿グラウンドのベンチ裏の壁に落書きがあります。この落書きされている壁に野球をしているさまりんの絵を描くことによって、落書きは減るのではないかと考えますが、見解を伺います。

次に、相模川グラウンドについてですが、現状のグラウンドには砂利が非常に多く、

そうした状況の中で子供から大人までスポーツをしています。例えば軽い砂を現状の土の上に敷くことや以前の相模川グラウンドのように野芝を活用した対応は考えていないのか、当局の見解をお示しく

ださい。
健康部長 施設への落書きについて、今回は職員が塗装

することで対応しましたが、相模原市の女子美術大学の学生が、実費で絵を描く対応ができるという話を伺いました。まずは落書きされないことを願いますが、再び落書きされた際に備えて、サイズや高さなど、対応の可能性を相談していきたいと考えています。

相模川グラウンドへの土の投入について、グラウンド部分だけでも4万平方メートルあることから、状態や必要な範囲を見極めながら、適宜実施していきたいと考えています。ご意見をいただいた野芝については課題として捉えています。



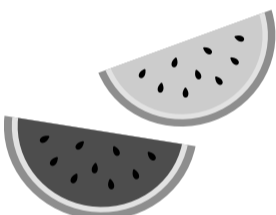
小児医療費助成の拡充 まずは18歳までの対象年齢の引き上げを

沖永 明久 議員《会派に属さない議員》

安心して子供を産み育てることができ、子供たち一人一人が健やかに育つ環境づくりの一環として、現行は対象が中学3年生まで、養育者の所得制限ありとしている本市の小児医療費助成制度の拡充が必要と考えますが、市長の見解を伺います。

市長 小児医療費助成の所得制限の撤廃と18歳までの拡充を公約で掲げましたが、現在の対象年齢である中学3年生までの助成について、所得制限の撤廃に向けた検討を指示したところです。

【再質問】 中学3年生まで所得制限なしとした場合、対象人口の増は2979人、経費負担の増は8900万円となります。一方、18歳まで対象年齢を引き上げ、所得制限に現行の児童手当の所得制



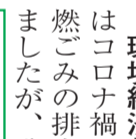
持続可能な環境美化行政へ ごみ処理有料化の調査・検討を

安海 のぞみ 議員《会派に属さない議員》

コロナ禍における在宅時間の長期化によって、ごみの排出量は増加していると考えます。ごみ減量化、資源化の現状と課題をお示しくください。併せてクリーンセンター現

職員の取組を伺います。また、ごみ処理の有料化について、検討しているか伺います。

市長 クリーンセンター現業職員は、様々な啓発活動を行うことで高い評価を得てい



児童ホームの児童一人当たりの面積拡大で3密対策を

守谷 浩一 議員《日本共産党》

児童ホームの児童一人当たりの面積は、国の省令基準でおおむね1.65平方メートル以上と示されています。しかし、これは従うべき基準ではなく参考にする参酌基準であるため、本市では国の省令基準を満たしておらず、児童一人当たり1.3平方メートル以上としています。各児童ホームを見て回る中で、コミュニティセンターの一角や学校教室の一角といった狭いスペースで40人から50人の児童が集まることは3密を避けられないと感じました。2021年度にひばりが丘・小松原児童ホームを旭小学校に移転しますが、移転先の児童ホー

ムは児童一人当たりの面積をどのように定めるのか伺います。また、他の児童ホームについて、児童一人当たりの面積基準を1.65平方メートルへ順次広げていくべきであると考えますが、見解を伺います。

子ども未来部長 旭小学校に移転する児童ホームの児童一人当たりの面積については、1.65平方メートルを確保します。他の児童ホームについては、待機児童の状況を注視し、地域ごとに待機児童が見込まれない状況になった場合には、国基準の1.65平方メートルを確保するように対応していきます。



学校生活における 子ども用マスク着用について

長瀬 未紗 議員《会派に属さない議員》

新しい生活様式として、子どもたちは学校でのマスク着用が当たり前となりましたが、体育の授業や登下校時においてもマスクを着用している姿が見られます。熱中症の危険

もあることから、多くの保護者が不安に思っています。子どもが息苦しさや体調の変化を感じたときに、自らマスクを取るといった選択や判断がで

(5面へ続く)

議会日誌

- 5/17 議会ICT推進検討委員会行政視察：茨城県取手市(オンライン)
- 18 代表者会議
- 21 議会運営委員会
- 26 全国市議会議長会第97回定期総会(書)
- 28 第2回定例会本会議
・予算決算常任委員会
- 6/4 第2回定例会本会議
- 7 第2回定例会本会議
・議会運営委員会
- 8 第2回定例会本会議
・予算決算常任委員会
- 10 企画総務常任委員会
・企画総務分科会
- 11 民生教育常任委員会
・民生教育分科会
- 14 都市環境常任委員会
・都市環境分科会
- 16 予算決算常任委員会
- 17 議会運営委員会
- 21 第2回定例会本会議
・議会だより編集委員会
・議会ICT推進検討委員会
- 28 代表者会議
- 30 高座清掃施設組合議会
第2回臨時会
- 7/1 全国市議会議長会基地協議会第100回理事
会：東京都千代田区